

【欧米】 1 **ファシズム** の台頭とヴェルサイユ体制(国際協調路線)の崩壊 ←世界恐慌

2 **全体主義**的体制 独裁的・反民主主義的 イタリア語のファッショ(結束)が語源

3 **国家社会主義**(国家の社会政策によって資本主義の弊害をのぞく)を自称

4 **反共産主義**・少数者排除などを掲げて国民的結集をはかり、民衆の支持を得る

※5 **人民戦線**…**反ファシズム**で共産主義と社会民主主義が協力

スペイン・フランスでは政権を獲得(6 **人民戦線内閣**)したが短命に終わる

<例> **イタリア** 7 **ファシスタ党**の8 **ムッソリーニ**政権(1922～) …9 **エチオピア侵略**(1935)、

**ドイツ** 10 **ナチス**の11 **ヒトラー**政権(1933～) 国際連盟脱退(1937)

…12 **国家(国民)社会主義ドイツ労働者党**

国際連盟脱退(1933)、再軍備宣言(1935)、ユダヤ迫害など

→外交に関する協定(1936)…「ベルリン・ローマ13 **枢軸** (the Axis)」

☆世界は

3つの陣営対立構造へ

S.	枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ
J.	自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス
K.	共産主義陣営…ソ連、(人民戦線)

<例>スペイン内戦(1936～39)…独・伊[S]の介入で**反人民戦線**の14 **フランコ**将軍が勝利 英仏[J]は不介入

ミュンヘン協定(1938)…独[S]のチェコスロヴァキア(ズデーテン地方)への勢力拡大を英仏[J]が容認

【中国】 政府=15 **中国国民党**(J)は16 **中国共産党**(K)と対立(1927～ 国共内戦)

…17 **毛沢東** が主導、延安へ本拠地を移動(「18 **長征**」)

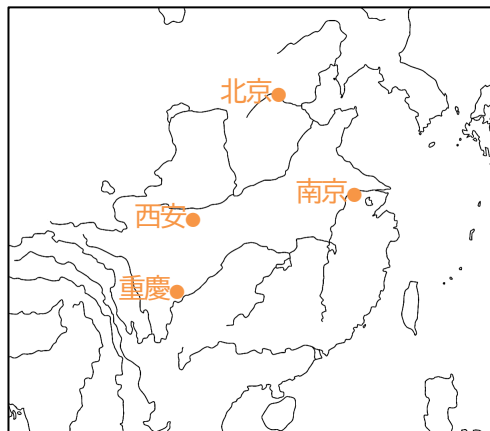
八・一宣言(1935)…団結を訴える 「抗日救国」

日本による19 **華北分断工作**…満州国に隣接する中国の華北5省に支配を広げる策略

1935. 梅津・何応欽協定、土肥原・秦徳純協定など

20 **冀東地区防共自治政府**発足(日本の傀儡) …中国は慎重

21 **西安事件**(22 1936)…23 **張学良**が24 **蒋介石**を監禁して内戦停止を要求 ←



図表307ページを見て、  
盧溝橋(北京)、南京、  
重慶、西安の位置を記入せよ

## 日中全面戦争の開始

25 **広田弘毅** 内閣 1936.3~37.2 ←二・二六事件後、軍部が閣内や政策に干渉

…外交官出身 齋藤・岡田内閣の外相(外務大臣)

(a) 26 **軍部大臣現役武官制の復活**(1936)→軍の意向が内閣の存立を左右

(b) 軍備拡張政策 ←27 **ワシントン条約・ロンドン条約の満期失効**(1936)

「28 **国策の基準**」(1936)…陸海軍による「帝国国防方針」改定にもとづく

陸軍は北進(ソ連)、海軍は南進(東南アジア・南洋)の準備→増税と赤字国債発行(29 **馬場財政**)

(c) 30 **日独防共協定** の締結(30 1936)…ソ連を仮想敵国

☆浜田国松(政友会)による軍部批判→寺内寿一(陸相)が激怒(「腹切り問答」)→総辞職

31 **宇垣一成** 政友会と民政党が協力 →32 **陸軍が反発(陸相を推挙せず)**→不成立 ←

…陸軍穏健派 朝鮮総督 憲政会・民政党内閣の陸相を歴任 軍縮を実行

33 **林銑十郎内閣** 1937.2~5 軍部独裁内閣(政党员を一人も入閣させない)

…陸軍 朝鮮軍司令官 齋藤・岡田内閣の陸相

結城豊太郎蔵相の軍財抱合財政(軍備拡張) 予算成立後に解散を強行→総選挙後に総辞職

34 **近衛文麿** 内閣 1937.6~39.1 貴族院議長 外交経験 右翼・軍とも親密 →国民の期待

35 **盧溝橋** 事件(36 1937 年7/7夜)…北京郊外で日本軍(37 **支那駐屯軍**)と中国軍が衝突

→さらに38 **第二次上海事変**(8/9)…→戦線の拡大

※名称 「39 **北支事変**」→「40 **支那事変**」→「41 **日華事変**」 ※実態は全面戦争…「42 **日中戦争**」

中国では43 **抗日民族統一戦線**の成立…44 **第2次国共合作**(9月)

1937.12 首都45 **南京** 占領 →46 **南京事件**(日本軍による略奪・暴行・虐殺) 数万人?

政府は不拡大方針…無視 →派兵を閣議決定 →ドイツ駐華大使47 **トラウトマン**が和平を斡旋  
→政府、和平工作で過酷な条件を示す…1938.1 「48 **国民政府を相手とせず**」(49 **第1次近衛声明**)

1938.10 **武漢三鎮**(武昌・漢口・漢陽)占領→国民政府は50 **重慶** へ→長期戦(泥沼)化

1938.11 「52 **第2次近衛声明(東亜新秩序声明)**」 ←米・英・ソなどが援助(51 **援蔣ルート**)  
…戦争の目的は「東亜永遠の安定を確保すべき新秩序の建設」であると主張

1938.12 国民党副総裁54 **汪兆銘** (55 **汪精衛**)がヴェトナムへ脱出

→のち(1940)、56 **新国民政府(南京政府)**の樹立…日本の傀儡政権 弱体

1938.12 「57 **第3次近衛声明(近衛三原則)**」…「善隣友好・共同防共・経済提携」

☆58 **日独伊三国防共協定**の締結(59 1937)…仮想敵国はソ連

【時代順問題に挑戦】<2009年度 本試験 日本史B>

I ③日本軍が中国の都市南京を占領するに際して、捕虜や非戦闘員を殺害する事件が起きた。

II ②中国東北部での日本軍の活動に対して、国際連盟からリットン調査団が派遣された。

III ①関東軍参謀河本大作らが、中国軍閥の一人である張作霖を、奉天郊外において爆殺した。

【欧米】 1 \_\_\_\_\_ の台頭とヴェルサイユ体制(国際協調路線)の崩壊 ←世界恐慌

- 2 全体主義的体制 独裁的・反民主主義的 イタリア語のファッショ(結束)が語源
- 3 国家社会主義(国家の社会政策によって資本主義の弊害をのぞく)を自称
- 4 反共産主義・少数者排除などを掲げて国民的結集をはかり、民衆の支持を得る

※5 人民戦線…反ファシズムで共産主義と社会民主主義が協力

スペイン・フランスでは政権を獲得(6 人民戦線内閣)したが短命に終わる

<例> イタリ 7 ファシスタ党の 8 ムッソリーニ政権(1922～) … 9 エチオピア侵略(1935)、  
ドイツ 10 ナチスの 11 ヒトラー政権(1933～) 国際連盟脱退(1937)

… 12 国家(国民)社会主義ドイツ労働者党  
 国際連盟脱退(1933)、再軍備宣言(1935)、ユダヤ迫害など

→ 外交に関する協定(1936)…「ベルリン・ローマ 13 \_\_\_\_\_ (the Axis)」

☆世界は

3つの陣営対立構造へ

S.	枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ
J.	自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス
K.	共産主義陣営…ソ連、(人民戦線)

<例> スペイン内戦(1936～39)…独・伊 S の介入で反人民戦線の 14 フランコ将軍が勝利 英仏 J は不介入  
 ミュンヘン協定(1938)…独 S のチェコスロヴァキア(ズデーテン地方)への勢力拡大を英仏 J が容認

【中国】 政府 = 15 中国国民党 (J) は 16 中国共産党 (K) と対立 (1927～ 国共内戦)

… 17 \_\_\_\_\_ が主導、延安へ本拠地を移動(「18 長征」)

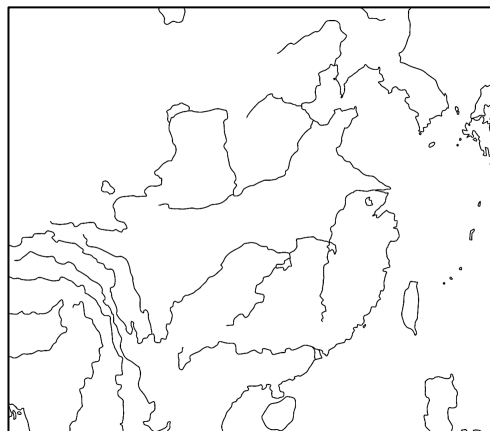
八・一宣言(1935)…団結を訴える 「抗日救国」

日本による 19 華北分断工作…満州国に隣接する中国の華北5省に支配を広げる策略

1935. 梅津・何応欽協定、土肥原・秦徳純協定など

20 冀東地区防共自治政府発足(日本の傀儡) …中国は慎重

21 西安事件(22 1936)… 23 張学良が 24 蔣介石を監禁して内戦停止を要求 ←



図表307ページを見て、  
 盧溝橋(北京)、南京、  
 重慶、西安の位置を記入せよ

## 日中全面戦争の開始

25 \_\_\_\_\_ 内閣 1936.3~37.2 ←二・二六事件後、軍部が閣内や政策に干渉

..... 外交官出身 齋藤・岡田内閣の外相(外務大臣)

(a) 26 軍部大臣現役武官制の復活(1936)→軍の意向が内閣の存立を左右

(b) 軍備拡張政策 ←27 ワシントン条約・ロンドン条約の満期失効(1936)

「28 国策の基準」(1936)・・・陸海軍による「帝国国防方針」改定にもとづく

陸軍は北進(ソ連)、海軍は南進(東南アジア・南洋)の準備→増税と赤字国債発行(29 馬場財政)

(c) 30 \_\_\_\_\_ の締結(30 1936)・・・ソ連を仮想敵国

☆浜田国松(政友会)による軍部批判→寺内寿一(陸相)が激怒(「腹切り問答」)→総辞職

31 \_\_\_\_\_ 政友会と民政党が協力 →32 陸軍が反発(陸相を推挙せず)→不成立 ←.....

..... 陸軍穏健派 朝鮮総督 憲政会・民政党内閣の陸相を歴任 軍縮を実行

33 林銑十郎内閣 1937.2~5 軍部独裁内閣(政党员を一人も入閣させない)

..... 陸軍 朝鮮軍司令官 齋藤・岡田内閣の陸相

結城豊太郎蔵相の軍財抱合財政(軍備拡張) 予算成立後に解散を強行→総選挙後に総辞職

34 \_\_\_\_\_ 内閣 1937.6~39.1 貴族院議長 外交経験 右翼・軍とも親密 →国民の期待

35 \_\_\_\_\_ 事件(36 \_\_\_\_\_ 年7/7夜)・・・北京郊外で日本軍(37 支那駐屯軍)と中国軍が衝突

→さらに38 第二次上海事変(8/9)・・・→戦線の拡大

※名称 「39 北支事変」→「40 支那事変」→「41 日華事変」 ※実態は全面戦争・・・「42 \_\_\_\_\_」

中国では43 抗日民族統一戦線の成立・・・44 第2次国共合作(9月)

1937.12 首都45 \_\_\_\_\_ 占領 →46 南京事件(日本軍による略奪・暴行・虐殺) 数万人?

政府は 不拡大方針 無視 → 派兵を閣議決定 →ドイツ駐華大使47 トラウトマンが和平を斡旋  
→政府、和平工作で過酷な条件を示す・・・1938.1 「48 国民政府を相手とせず」(49 第1次近衛声明)

1938.10 武漢三鎮(武昌・漢口・漢陽)占領→国民政府は50 \_\_\_\_\_ へ→長期戦(泥沼)化

1938.11 「52 第2次近衛声明(東亜新秩序声明)」 ← 米・英・ソなどが援助(51 援蔣ルート)  
・・・戦争の目的は「東亜永遠の安定を確保すべき新秩序の建設」であると主張

1938.12 国民党副総裁54 \_\_\_\_\_ (55 汪精衛)がヴェトナムへ脱出

→のち(1940)、56 新国民政府(南京政府)の樹立・・・日本の傀儡政権 弱体

1938.12 「57 第3次近衛声明(近衛三原則)」・・・「善隣友好・共同防共・経済提携」

☆58 日独伊三国防共協定の締結(59 1937)・・・仮想敵国はソ連

【時代順問題に挑戦】<2009年度 本試験 日本史B>

- I 日本軍が中国の都市南京を占領するに際して、捕虜や非戦闘員を殺害する事件が起きた。
- II 中国東北部での日本軍の活動に対して、国際連盟からリットン調査団が派遣された。
- III 関東軍参謀河本大作らが、中国軍閥の一人である張作霖を、奉天郊外において爆殺した。